



北数教高校部会だより

北数教高校部会事務局
北海道札幌白陵高等学校
〒003-0876 札幌市白石区
東米里 2062 番地 10
Tel. 011-871-5500

8月に行われた「数学教育実践研究会」の活動を報告します。

■「第122回数学教育実践研究会」

(日時) 令和4年8月27日(土)

今回もオンライン実施で、参加者がチャットに感想や質問を書き込み、講師が随時回答するという双方向性を確保しています。

【講演】

「これからの時代に求められる数学力と伝えるためのメディアの役割」

講師：フリーアナウンサー・数学の「翻訳家」
篠崎 菜穂子 様

篠崎さんは、メディアを通して数学を伝える仕事に携わる中で、数学を伝えることの難しさを感じられていたそうです。そして、昨年度から通い始めた大学院で、これからの時代に市民に必要とされる数学力を明確化し、それを伝えるためのコンテンツ作りを研究されています。

小学校時代に算数が専門の担任の先生との出会いから数学が好きになり、高2では理系クラスを選択、追っかけをしていた秋山仁先生に直接弟子入りを志願されたそうです。大学では数学科に所属。女子が非常に少なく数学の勉強にも挫折をし、ダンサーを目指しますがそれもダメ。しかし、そのときの審査員から「声」を褒められたことを契機に、受験生を応援するラジオ番組のアシスタントに応募し合格。それに加え、母校で数学を教えることになり、再度数学に関わることになりました。

「楽しく面白く数学を伝えたい！」という気持ちと現実のジレンマで数年後に教職を離れ、数学が得意だということからか、数学を活かしたアナウンサーの仕事に多く関わることになりました。その中で工程を考えることや時間管理ができたこと、レポートで流れを意識できたこと、画面における自分の立ち位置や角度を図形的に意識できたことなど、数学的な見方・考え方が非常に仕事の中で役立っていることを強く感じるようになったそうです。

そして、メディアに身を置く者として「数学を伝えるということはどういうことか」ということに強く関心を持ち、現在の横浜国立大学大学院先進実践学環で社会人大学院生として、「数学力を伝えるコンテンツ作り」を研究されています。

まとめ

数学のよさ 自由な発想で考えられること、応用が様々なこと

実は 数学好きだったんだけど苦手な...という人の多さに驚く

できる、できないではない数学の重要性

数学そのものが面白いと思えばよいが、歴史に感動する人、仕事に繋がって興味を持つ人、日常生活に繋がって興味を持つ人、しゅみに感動する人 etc...

学校で学んだ数学の延長にある数学だけではなく、もっといろんな数学がある！！

最後に、今もラジオ Nikkei「大人のラヂオ」でアシスタントとして数学との繋がりを強く感じる中で、執筆された本について紹介いたします。

篠崎菜穂子著

『はたらく数学～25の仕事でわかる数学の本当の使い方～』日本実業出版社



この本では、数学や算数が実際の社会でどのように活かされているかを、美容師、パティシエ、ネットワークエンジニア、不動産販売員、天文学者など、25の「仕事」のエピソードを通して、やさしく解説されています。

【レポート発表】

後半は、5名5本の実践・研究発表がありました。

「時間をかけずに3分間で語るエピソード part3」

国際情報 吉田 亮介

「面積図利用法」 札幌創成 外山 尚生

「覗いてみよう「感じる数学」」 札幌旭丘 菅原 満

「対称のいろいろな姿」 数実研会員 安田 富久一

「数列の和で One more thing」 札幌南 長尾 良平

■発表レポートや研究会情報

北数教の高校部会ホームページである「数学のいずみ」(<http://izumi-math.jp/>)に掲載されています。

●数実研メーリングリスト「IZUMI」について

「日常の授業についての情報共有や、疑問点に関する意見交換」や「各種研究会の参加報告や、新聞等の報道に関する情報提供」等を目的に行っております。

●オンライン懇親会について

研修会終了後に、情報交換や親睦を目的に開催しています。どうぞ気軽にご参加ください。

●感じる数学 Tangible Math ～がら伊からぽアかまで～

現在、北大総合博物館では、「数学みえる化プロジェクト」の一環として特別展示と関連イベントを行っており、数実研も協力してます。9/25(日)まで開催中です。

【次回研究会のご案内】

日 時: 令和4年11月26日(土) 13:30～オンライン実施＝
講 師: 鶴遊山長善寺住職 釋 文 隆(上村 文隆)氏
演 題: 『教育の情報化』と『数学の人間化』